

ノーベル賞の大隅さん講演

「新しい分野に挑戦を」

大城崇

昨年ノーベル医学生理学賞を受賞した東京工業大名誉教授の大隅良典さん(72)は、熊本市東区出身。熊本市で13日に行った崇城大開学50周年の記念講演で「新しい分野にチャレンジする人が続々と出てくること、サイエンスにとって大事だ」と強調した。

大隅さんは、ノーベル賞の受賞理由となった、細胞が栄養飢餓状態になると自らの細胞の一部を分解して栄養源とする「オートファジー(自食作用)」の研究

を振り返り、「知的好奇心に支えられ、たくさんの偶然と素晴らしい出会いもあって進めてきた。未解明の部分も多く、非常に面白い課題も見つけることができた」と語った。

会場では、大学の卒業生や教職員など約700人が耳を傾けた。崇城大の中山峰男学長は「100周年を見据えて、人材教育をして、大隅先生のような素晴らしい人材が出てくることを願っている」と話した。

(浜口妙華)